

第53回札幌矯正管区教誨師研修大会 研修事業評価委員会（自己評価Ⅰ）議事録

1 日 時

平成29年6月21日（水）午前11時40分から午後零時30分まで

2 場 所

網走セントラルホテル2階「渚・潮騒の間」

（〒093-0012 網走市南2条西3丁目7番地）

3 出席者

(1) 事業者

札幌矯正管区教誨師連盟事務局長	天 野 広 輝
網走刑務所教誨師会会長（大会委員長）	梶 原 睦 尚
旭川刑務所教誨師会会長	柏 川 法 潤
千歳教誨師会会長	阿 部 正 信

(2) 外部関係者

札幌矯正管区成人矯正第二課長	渡 邊 真 也
札幌矯正管区成人矯正第二課事務官	永 田 喜 寛
札幌矯正管区成人矯正第二課研修員	高 橋 洸 太
網走刑務所上席統括矯正処遇官（教育担当）	大 坂 悟
旭川刑務所統括矯正処遇官（教育担当）	丸 幸 司
旭川刑務所教育専門官	山 田 真 史
北海少年院統括専門官（企圖調整）	佐々木 善 生
北海少年院専門官	土 屋 希世子

4 議事内容

(1) 事前準備について

ア 教誨師会及び施設事務局において、十分に協議調整を重ねていたこともあり、準備段階において、研修大会を開催する上で、特段支障を生じることはなかった。

イ 宿泊先の手配及び旅費等について、施設事務局で事前に各施設へ連絡等により調整を図ることで、特段混乱することなく大会当日を迎えることができた。

(2) 大会当日について

- ア 1日目の記念講演は、大会参加者にも非常に好評であったためか、「記念講演をもう少し長く聞きたかった」、「時間を長くしてほしい」など、講演時間に関する意見も多く認められた。
- イ 式典時に執り行う各種表彰において、事前にリハーサルを実施しているものの、被表彰者が戸惑う場面も見受けられたことから、次回開催に向け、表彰要領の伝達について、十分調整が必要であると思われる。
- ウ 2日目の研究発表では、他の施設で活躍される教誨師の活動内容を学ぶことができたことで、多くの大会参加者からも好訓とであったが、研究発表者は、いずれも刑事施設所属であり、少年施設で活躍される教誨師の研究発表を希望する意見もあったことから、次回開催に向け、研究発表者の選定についても十分に検討する必要がある。
- エ 昨年度と比較すると、若干増加しつつも、ここ数年間、教誨師の方々の出席率が低下傾向にあり、今後における大きな課題である。

(3) 事後処理について

各種経理事務について、大会記録や補助事業に関する書類の作成を行い、期限内に適正に報告等を実施したい。